



平成 28 年度特別展 (第 35 回)

ほとけの王国 大分の仏像

10月21日(金)～11月27日(日)

集う、
郷土の祈り



銅造如来立像(重要文化財)／大分市・杵原八幡宮

木造普賢延命菩薩坐像(重要文化財)／大分市・大山寺

木造増長天立像(重要文化財)／宇佐市・大楽寺

大造不動明王坐像(県指定有形文化財)／大分市・金剛宝戒寺

【記念講演会】

■日時 11月6日(日) 午前10時～
■講師 鍛内佐斗司氏 彫刻家 東京藝術大学大学院教授(文化財保存学)
■基調講演 「絵解き仏像講座-ほとけさまの意味するところ-」
■対談 田中修二氏 大分大学教育学部教授
■場所 ホルトホール大分 3階 大会議室
■料金 無料 ※参加者は、当日に限り大分市歴史資料館での観覧料が無料になります

【展示解説講座】

■日時 10月30日(日) 午後2時～
■場所 大分市歴史資料館 講座室
■料金 無料 ※受講者は、当日資料館での観覧料が無料になります

大分市
歴史資料館

大分市歴史資料館
OITA CITY HISTORICAL MUSEUM

〒870-0864 大分市大字国分960-1 TEL097-549-0880

開館時間 午前9時～午後5時[入館は午後4時30分まで]

休館日 10月24日・31日/11月4日・14日・21日・24日

観覧料 大人 200円(団体150円) 高校生 100円(団体50円)

中学生以下無料 ※団体は20名以上

※身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている方とその介護者は無料(受付で手帳を提示)

主催 大分市教育委員会 後援 大分合同新聞社/NHK大分放送局/OBS大分放送/TOSテレビ大分/OAB大分朝日放送/エフエム大分/OCT大分ケーブルテレビ/JR九州大分支社/JRおおいのシティ/月刊シティ情報おおい

11月5日(土)～8日(火)
せんとくんが資料館に
遊びに来るよ!



ほとけの王国 大分の仏像

【展示構成】

- 第一章 菩薩—悟りを求める—
- 第二章 如来—悟りへの到達—
- 特集展示① 深沙大将—三蔵法師の守護神—
- 第三章 明王—怒りと慈悲—
- 特集展示② 模刻制作—もの・わざ・こころを伝える—
- 大分市の磨崖仏—懸崖のほとけ—
- 第四章 天—仏教の守護神—

6世紀半ばの仏教公伝以来、人々はさまざまな祈りをこめて仏教を信仰してきました。その祈りの対象としての仏さまの姿は、仏教の多様な教えが人々の間に広まるにつれて、それに対応するようにさまざまなかたちで表現されるようになりました。

仏像といえは、本来仏教の開祖であるお釈迦さまの像を意味しますが、広い意味では如来・菩薩・明王・天などの多種多様な仏教諸尊の像までを含みます。

本展覧会では、仏教の伝来から現在にいたる長い年月の中で、人々の祈りや願いを反映したさまざまな仏さまの姿を、郷土大分に伝わる仏像を中心に紹介します。あわせて、早くから仏教文化が華開いた大分の地域的特色も紹介します。



木造普賢延命菩薩坐像《重要文化財》
大分市・大山寺 平安時代

国内最古の普賢延命菩薩



微笑をたたえる九州最古の金銅仏

銅造如来立像《重要文化財》
大分市・杵原八幡宮 飛鳥時代



木造不動明王坐像《県指定有形文化財》
大分市・金剛宝戒寺 平安時代

密教伝来当初の姿を伝える不動明王



木造深沙大将立像《県指定有形文化財》
奈良県平群町・杵築神社 南北朝～室町時代

2メートルの巨大深沙大将 九州初上陸！



日田に伝わる磨崖仏師の技

木造多聞天立像《重要文化財》
日田市・永興寺 鎌倉時代



後世へ伝えるもの・わざ・こころ

東大寺中学院弥勒菩薩立像縮尺構造模型
個人 現代

【連携展示】この秋、いのりの世界と出会う——

大分県立先哲史料館 秋季企画展

空海への思いと山の聖—記録が語る豊後国と高野山—
平成28年10月1日(土)～11月13日(日)

記念講演会:平成28年10月12日(水) 午後1時半～

講師:西山 厚氏(帝塚山大学教授)

関連講座:平成28年11月2日(水) 午前10時半～

※詳しくは、大分県立先哲史料館(097-546-9380)まで

